

財務諸表に対する注記

公益財団法人アイネット地域振興財団

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債権

購入時の取得価額によっている。

② その他の有価証券は

時価のあるもの………決算日の市場価格等に基づく時価法
(売却原価は個別法により算定)

時価のないもの………個別法による原価法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000			3,000,000
投資有価証券	306,250,000	22,225,000		328,475,000
小 計	309,250,000	22,225,000		331,475,000
特定資産				
投資有価証券	306,250,000		71,625,000	234,625,000
普通預金	6,725,375	185,352		6,910,727
小 計	312,975,375	185,352	71,625,000	241,535,727
合 計	622,225,375	22,410,352	71,625,000	573,010,727

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当 額)	(うち一般正味財 産からの充当 額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000		
投資有価証券	328,475,000	328,475,000		
小 計	331,475,000	331,475,000		
特定資産				
投資有価証券	234,625,000	234,625,000		
普通預金	6,910,727	6,585,350		325,377
小 計	241,535,727	241,210,350		325,377
合 計	573,010,727	572,685,350		325,377

4. 固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高

該当事項はありません。

5. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用している。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

財産管理・運用規定に基づく取引

金融商品取引は、当法人の運用基本方針に基づき行い、安全性の高い株式、債券を運用している。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項はありません。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容		金 額
経常収益への振替額	受取配当金等	14,790,953
経常収益への振替額	受取寄附金	5,000,000
小 計		19,790,953